



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 ふくいの集い in 敦賀」から ◎土づくりについて
<質問要約>

EM を用いた土づくりでは、ボカシを施用したり収穫残渣を還元したりしますが、土壌が栄養過多になる心配はないのでしょうか？

<比嘉教授からのコメント>

通常の肥培管理技術では、過剰施肥による障害や徒長の問題を考える必要がありますが、EM の場合肥沃になって問題になることはなく、バランスよく育ちますし、限界突破が起こると高品質で多収、肥効が長くなるといった現象が現れます。最終的には「何もなくてよく育つ」土壌が究極の目標です。このような土づくりを目指して頑張ってください。

4月24日付上毛新聞ニュースでEMをもちいたプール清掃が記事として掲載されましたので、ご紹介いたします。この記事は、上毛新聞のホームページでも閲覧できます。以下のURLへアクセスください。
<http://www.raijin.com/news/a/2012/04/24/news05.htm>



微生物の力でプールの汚れを改善しようと伊勢崎市境下湊名の境北中の2、3年生150人が20日、米のとぎ汁で培養したEM菌(有用微生物群)をプールに入れた。同市内では名和小、境島小でもプールでのEM菌散布を行っており、市教委教育施設課は「汚れ落ちだけでなく、教育的な効果も期待している」と話している。

境北中では昨年のプール清掃時、水質悪化により、ひどい臭いがしたという。これを聞き付けた同校OBで伊勢崎有機農業研究会の宮崎篤さん(64)＝同市伊与久＝らがEM菌の提供を申し出た。

プールでの実験に先立ち2～3月、校内トイレにEM菌23リットルを投入。散布前は生徒が悪臭を訴えていたが、散布後は改善傾向がみられた。

このため3月から生徒、教職員がそれぞれの自宅から米のとぎ汁入りペットボトルを持ち寄り、校内で培養していた。

名和、境島の両小学校では昨秋EM菌の培養液をプールに投入。冬場は低温で菌が死滅してしまうことから春先に再度、入れている。境北中では1回だけのため、やや多めの2リットルペットボトル約200本をプールに入れた。

矢島祐介教頭は「トイレの悪臭が改善されたので、生徒のやる気も出た。40日後のプール清掃で微生物の持つ分解力を実感してほしい」と期待していた。



EMを活用した海苔養殖と水稻栽培を営む宮城県七ヶ浜町の星のり店様の復興の様子が、4月4日、テレビ朝日の報道ステーションで紹介されました。放映内容はテレビ朝日のホームページで全編視聴可能です。

本通信でも紹介しましたミュージックセキュリティーズのファンドを通じて投資が集まり、見事に再出発した様子をご覧いただけます。

http://www.tv-asahi.co.jp/dap/bangumi/hst/feature/detail.php?news_id=23895

◇◇◇◇◇ ご案内 ◇◇◇◇◇

- ◆ 「第8回 みんなで広げようEM運動 in 八戸市」、5月16日(水)、13:00～17:00、八戸市公民館、第一部：杉本医師ご講演、第二部：比嘉教授ご講演、入場無料、お問い合わせ先：熊さん株式会社(電話：0178-24-7766)
- ◆ 「善循環の輪 奈良の集い in 五條」
5月27日(日)、12時50分～17時30分、五條市市民会館・大ホール、入場無料、お問い合わせ先：Unet事務局